

市内の小・中学校で英語を教えているALT (外国語指導助手) の皆さんが、久慈で生活して感じてきたことなどを紹介するコーナーです

## My life in Kuji

メーガン・ジョーンズ さん

オハイオ州・24歳 / 久慈小、長内小、平山小、侍浜小、宇部小、大川目中、侍浜中、三崎中



### Black History Month

久慈で初めて過ごす冬。まさか、出身地のコロンバスより寒く雪も多いなんて驚きました！

2月といえば、バレンタインデー。アメリカにはホワイトデーはなく、チョコやプレゼントはバレンタインデーに交換します。子どもたちは、クラスメイトと手紙やキャンディをやり取りします。

また、2月は「Black History Month (黒人歴史月間)」。アフリカ系アメリカ人とその文化をたたえる大切な月で、多くの国民が、名だたる黒人と彼らのアメリカ社会への貢献に感謝の意を表します。学校でも、奴隷制度や解放運動、ジム・クロー法、公民権運動、ブラックパワー運動など歴史について、そしてリエット・ダブマン、フレデリック・ダグラス、マーティン・ルーサー・キング、マルコムX、アンジェラ・デイヴィスといった有名人について学びます。アフリカ系アメリカ人の歴史は、アメリカ社会や文化を理解する上では欠かせません。皆さんもぜひ、本や映画、インターネットで調べたり、ALTに尋ねてみてください。



平庭高原の雪解け水をたたえた瀬月内ダム。湖面に写る青空と新緑が心を和ませる



山形町来内地区の山々に囲まれ、水をたたえる瀬月内ダム。瀬月内川の下流に位置する九戸村内の水田と、来内地区の丘陵地に広がる畑の慢性的な用水不足解消のため建設された農業用利水ダムです。

ダム周辺は豊かな自然に恵まれ、四季折々の美しい景色や、色とりどりの野鳥などを見ることが出来ます。これからの季節は、早春の爽やかな風の中、新緑の山々とそれを映し出す水面とのコラボレーションが訪れる人々の目を楽しませます。

平庭高原を訪れた際にはぜひ立ち寄って、大自然と澄んだ空気ですっきりフレッシュしましょう。

## ぶらりくじ歩き

四季折々の自然に触れる  
瀬月内ダム

山形公民館 ☎72-3711



Name

田村 大樹 さん  
たむら だいき (夏井町・39歳)

Profile

両親と3人暮らし。時間を見つけて積極的に研修会に参加する勤勉家。久慈地区水泳大会の大会記録を保持するアスリートの一面も見せる。農協青年部や市水泳協会の活動にも精力的。毎週の水泳の練習と、先輩と卓を囲む麻雀が楽しみ。

## きらり人輝く

地元・夏井町で新規就農  
和牛の一貫生産に挑戦

### 畜産・酪農の魅力を伝えたい

昨年、地元夏井町に戻り新たに肉牛の生産を始めた田村大樹さん。肉牛の生産は一般に、母牛を飼育し産ませた子牛を販売する「繁殖農家」と、子牛を肉用牛として育て出荷する「肥育農家」の分業制。田村さんは繁殖と肥育、両方を行う一貫生産に挑戦します。

#### ■就農のきっかけ

平成27年まで、JA北海道中央会に勤めていました。仕事で若い就農者たちと話をすることで、農業の魅力と可能性を再認識。実家が酪農を営んでいることもあり、地元で就農することを決意しました。

#### ■一貫生産への思い

農業を始めて、まず挑戦したいと考えたのが牛の一貫生産でした。一貫生産では誕生から出荷まで牛の状態を一括管理でき、消費者に安全性をわかりやすくPRできます。また、牛の購入コストを抑えられ、経営の安定も期待できます。

#### ■新たな挑戦への原動力

久慈に戻り1年ほど実家の酪農を手伝いながら、岩手大学の「いわてアグリフロンティアスクー

ル」で農業経営や管理のノウハウを学びました。他の受講生の農業に対する熱意に触れ、私も夢に挑戦しようと決意を新たにしました。一緒に学んだ人たちのつながりは大切な宝物になっています。

#### ■将来の夢

今後は、親が経営している酪農も継承し、乳牛と肉牛の乳肉複合で、安定した農業経営を確立したいと考えています。

夢は畜産・酪農の魅力を広く伝えるための「教育ファーム」を作ること。農場を中心に、放牧による景観づくりや食育など、将来の担い手となる子どもたち、そして地域の人たちが畜産・酪農に興味を持ち、理解を深められる活動をしていきたいと考えています。

## 協力隊だより

木村 圭次さん  
(きむら けいじ・48歳)

2016年4月に協力隊着任、侍浜支所勤務。主役は住民との決意のもと、地域との徹底交流を通じた地域づくりサポートを推進する。



木村隊員(前列中央)は住民との交流を欠かしません

### 成果を取り入れ進める地域おこし

2月6日から8日までの3日間、木村隊員は侍浜町の「侍(SAMURAI)ブランドプロジェクト協議会」のメンバーとともに東京都や静岡県先進地を視察。築地では侍浜の食材を活用したメニュー開発のセミナーを受けたほか、静岡県沼津市の干物工場の見学や同県河津町にある地元住民運営の「番屋」を訪問するなど、観光集客について学びました。

「地域の食材を活用すること、干物づくり、観光番屋など全ての視察内容が今、侍浜で検討されていることです。視察の成果は侍浜の地域づくりにどんどん取り入れられると思います。私も精一杯サポートします」と話す木村隊員。地元侍浜の人たちと一緒に地域おこしにまい進しています。(記・宇部芳彦)

●地域おこし協力隊…移住定住促進を目的に、都市部からの移住者に対して市が委嘱。地域おこしの支援(地域行事やイベントの応援、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR、情報発信など)や農林水産業への従事、住民の生活支援など「地域協力活動」を行います。

## 集まれ！元気の輪

### 読み聞かせボランティア「ピノキオ」

代表：遠川美雪さん ☎ 市立図書館 ☎ 53-4605  
活動日：毎月第2・4土曜日  
活動場所：市立図書館内チビッコの部屋

第2土曜日の読み聞かせ会は、子どものお昼寝に配慮して午前11時から開催中



本と子どもを愛する5人の会員で活動する「ピノキオ」。月2回の活動日には、それぞれが選んだ絵本や紙芝居の読み聞かせを行うほか、メンバー全員で人形劇を上演することもあります。

「毎回、参加してくれた子ども達から元気もらっています」と代表の遠川美雪さんは微笑みます。子どもたちが本に触れる機会が増え、少しでも成長を後押しできればと活動を続けるピノキオのメンバー。皆さんも一緒に読み聞かせをしてみませんか？